

令和元年度 地方創生推進交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		令和元年度の取組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
デマンド交通域外運行拡充事業	指標①	デマンドタクシー年間利用者数	17,000	人	R2.3	19,704	①水戸市への域外運行を始めとした運行体制の拡充(乗降場所・運行時間の拡大、車両の増台、土曜日運行)によりデマンドタクシーの運行を実施する。 ②地域公共交通会議開催(3回) 構成:市、交通事業者、利用者代表、道路管理者、警察署、社会福祉協議会等 ③アンケート調査等により利用者の意見や状況などを分析し、更なる利便性の向上や効率的な運行体制の構築に向けた検討を行う。 ④福祉施設や商業施設、自治会等に出向き出前講座やPR周知により利用促進を図る。
	指標②	医療機関への利用者数	10,000	人	R2.3	11,000	
	指標③	日常生活において目的地までの移動に不便を感じている市民の割合	17.00	%	R2.3	22.86	
交付決定額:8,240千円 実績額:8,178千円	指標④	買物支援事業、障がい者外出支援事業、子育てタクシー運行事業の利用者数	—	人	R2.3	—	
事業概要	鉄道駅やバス停まで歩くことが困難な方や運転免許を返納した高齢者、小さな子どもを連れた保護者や妊娠中の方など、車を持たない、運転できない交通弱者等の移動手段の確保並びに外出機会の創出を図るため、自宅から市内全域及び水戸市中心部まで乗換えが不要で移動することができるデマンドタクシーの運行体系を拡充し、住民が適切な医療を受けるために必要な移動体制や健康で安心して安全に生活できる交通環境を整備する。 また、水戸市内の乗降場所である水戸駅と水戸京成百貨店は、鉄道やバス路線の交通結節点となっており、水戸市内の医療機関(総合病院・小児科・産婦人科病院等)や商業施設(百貨店・専門店等)などへの移動を容易にすることから、通院+買物、通院+趣味・娯楽など、外出支援策として、健康増進やいきがいつくり、子育て支援などに寄与するものとなるため、今後は更なる事業の周知・啓発及び医療・福祉機関や商業施設、地域住民・団体等と連携できる取組みやマッチング事業等の検討を行うことにより、利便性や乗合効率の向上並びに利用者数の拡大を図る。						

※事業効果・・・ A:「非常に効果的であった」(目標値以上)、 B:「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、 C:「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D:「効果がなかった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた令和2年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 「ひまわりバス」の代替機能として、地域住民のニーズを踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組を徹底しながら、さらなる利用者数増や利便性の向上を図る取組を進めてほしい。 「移動に不安を感じている市民の割合」が高くなっていることが課題となっているが、デマンドタクシー利用者のアンケート結果などから、今後のあり方(便数、ルート、時間帯など)をさらに検討してほしい。 定住促進や子育て支援の観点から、現在は禁止事項となっている通学(学習塾等も含む)での利用を検討してはどうか。 個人情報の提供に敏感な昨今、また簡便に利用できる手軽さを考え、「利用者登録」無しで利用できると更に利用者が増えるのではないかと。 	更に発展させる	事業効果により、KPI①②の利用者数は順調に増加しているが、KPI③の割合が高くなってしまっている状況等を踏まえ、市民、特に高齢者を中心とした交通弱者が安心・安全かつ快適に利用できる交通手段として、デマンドタクシーの更なる利便性の向上や事業の周知・啓発などに努める必要がある。 地域公共交通として、デマンドタクシーの利用者は更なる増加が期待されることから、予約の簡素化や運行効率の向上を図るため、「運行配車システム」の導入について具体的に検討を進めるとともに、医療機関のみならず、福祉施設や商業施設、地域団体等との連携により地域の機運を高め、官民一体となって事業を支えていく必要がある。